

平成26年度第3四半期 資金管理料金特別会計 収支計算書(案)の説明書

平成26年4月1日から平成26年12月31日まで

資料5-5

- ◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値と一致しない。金額がないものは「-」、金額はあるが単位未満のものは「0」で表示している。なお、金額がマイナスの場合は「△」で表示している。
- ◎想定進捗率について:年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。
- ◎予算額は、科目間の流用後の金額を記載している。
- ◎\*を付した[ ]内の数値については、収支計算書には計上されないが、新規科目の計上及び計上科目の変更を反映した場合の年度予算及びそれに対する進捗率を示している。

(単位:百万円)

科 目	平成26年度3Q				平成25年度3Q	決算対前年度差異			予算との比較	平成25年度同期実績との比較
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)			
<b>I 事業活動収支の部</b>										
<b>1. 事業活動収入</b>										
① 特定資産運用収入		[ 2 ]	[ 77% ]	[ 69% ]						
情報システム刷新準備資金運用収入	1	-	-	-	-	1	-		○ 平成25年度3月に積み立てた情報システム刷新準備資金の国債運用による利息収入(144万円)である。当初の予算では「雑収入-有価証券運用収入」に計上していたが、公益法人会計基準に則り、本科目を新たに計上する。なお、雑収入として計上していた予算額、予算進捗率及び想定進捗率は平成26年度3Q欄の[ ]内の数値となり、債券の利回り実績が予算想定時を上回ったこと等により想定進捗率を上回った。	
② 事業収入										
資金管理料金収入	1,452	1,804	80%	63%	1,508	△ 56	96%	○ 預託台数が予算想定を上回ったため、資金管理料金収入は想定進捗率を上回った。(資料5-2を参照)	○ 預託台数が平成25年度同期実績を下回ったため、資金管理料金収入は平成25年度同期実績を下回った。	
輸出取戻し手数料収入	395	445	89%	77%	434	△ 38	91%	○ 輸出返還台数が予算想定を上回ったため、輸出取戻し手数料収入は想定進捗率を上回った。(資料5-2を参照) また、新旧単価の内訳は下表のとおりであり、本第3四半期のPC申請の新単価での返還割合は85%(予算想定時67%)となった。	○ 輸出返還台数は増加したものの、平成26年4月に実施した手数料の改定により、輸出取戻し手数料収入は平成25年度同期実績を下回った。	
事業収入計	1,847	2,249	82%	66%	1,942	△ 95	95%			
③ 補助金等収入										
承認済特定再資源化預託金等収入	-	7	-	0%	111	△ 111	-	○ 承認済特定再資源化預託金等収入は、予算想定通り第3四半期の発生はなかった。なお、本年度の承認済特定再資源化預託金等収入は、番号不明被災自動車処理費用に充てられる金額のみであり、第4四半期に申請する予定である。	○ 情報システム改善に係る性能対策に要する費用に充てられた金額の発生及び番号不明被災自動車処理費用に充てられた金額の第3四半期の充当はなかったため、平成25年度同期実績を下回った。	
④ 負担金収入										
自動車製造業者及び日本自動車輸入組合からの負担金収入	587	875	67%	71%	697	△ 109	84%	○ 自動車製造業者及び日本自動車輸入組合が負担する下記支出が予算想定を下回ったため、これと連動して負担金収入も想定進捗率を下回った。	○ 自動車製造業者及び日本自動車輸入組合が負担する支出のうち、主としてサポート業務運営委託費支出が平成25年度同期実績を下回ったため、これと連動して負担金収入も平成25年度同期実績を下回った。なお、サポート業務運営委託費支出の主な減少内容は平成25年度第1四半期に発生したデータセンター移行に伴う新旧データセンターの並行稼働期間により生じた支出である。	
⑤ 雑収入										
有価証券運用収入	1	[ 2 ] 4	[ 61% ] 28%	[ 72% ] 67%	2	△ 1	67%	○ 余剰資金の国債運用による利息収入(110万円)である。債券の利回り実績が予算想定時を下回ったこと及び当科目にて計上していた情報システム刷新準備資金の利息収入を、実績は「特定資産運用収入」に計上したことにより想定進捗率を下回った。なお、余剰資金の利息収入のみの予算額、予算進捗率及び想定進捗率は平成26年度3Q欄の[ ]内の数値となった。	○ 購入債券の額面及び利回りが平成25年度同期実績を下回ったため、有価証券運用収入は平成25年度同期実績を下回った。	
事業活動収入計	2,437	3,134	78%	67%	2,754	△ 318	88%			

銘柄名	受渡日	額面	利回り	
			実績	予算想定時
利付国債(5年)第117回	平成26年4月25日	1,062 百万円	0.195%	0.190%

預託別(単価/台)	3Q決算			3Q想定			年度予算	
	台数	金額	予算進捗率	台数	金額	想定進捗率	台数	金額
新車購入時(380円)	372 万台	1,415 百万円	81%	289 万台	1,098 百万円	63%	461 万台	1,752 百万円
引取時(後付預託を含む)(480円)	8 万台	36 百万円	70%	8 万台	39 百万円	75%	11 万台	52 百万円
合計	380 万台	1,452 百万円	80%	297 万台	1,137 百万円	63%	472 万台	1,804 百万円

申請区分	3Q決算			3Q想定			年度予算	
	台数	金額	予算進捗率	台数	金額	想定進捗率	台数	金額
PC申請	109.3 万台	387.7 百万円	90%	88.7 万台	331.0 百万円	77%	118.2 万台	431.4 百万円
旧単価(@440)	16.2 万台	71.4 百万円	55%	29.6 万台	130.0 百万円	100%	29.6 万台	130.0 百万円
新単価(@340)	93.0 万台	316.3 百万円	105%	59.1 万台	200.9 百万円	67%	88.7 万台	301.4 百万円
一般申請	1.0 万台	7.4 百万円	54%	1.4 万台	10.3 百万円	75%	1.8 万台	13.6 百万円
旧単価(@780)	0.1 万台	1.1 百万円	31%	0.5 万台	3.5 百万円	100%	0.5 万台	3.5 百万円
新単価(@750)	0.8 万台	6.3 百万円	63%	0.9 万台	6.8 百万円	67%	1.4 万台	10.1 百万円
合計	110.2 万台	395.1 百万円	89%	90.0 万台	341.2 百万円	77%	120.0 万台	445.1 百万円

科目	3Q決算		3Q想定		年度予算
	金額	予算進捗率	金額	想定進捗率	金額
a システム関連費支出	217 百万円	66%	224 百万円	68%	329 百万円
b サポート業務運営委託費支出	184 百万円	68%	195 百万円	71%	273 百万円
c その他の事業費支出	103 百万円	72%	115 百万円	80%	143 百万円
d 管理費支出等	84 百万円	64%	90 百万円	69%	130 百万円
合計	587 百万円	67%	624 百万円	71%	875 百万円

銘柄名	受渡日	額面	利回り	
			実績	予算想定時
利付国債(5年)第88回	平成26年4月25日	2,485 百万円	0.075%	0.080%

◎金額の表示について：百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値と一致しない。金額がないものは「-」、金額はあるが単位未満のものは「0」で表示している。なお、金額がマイナスの場合は「△」で表示している。

◎想定進捗率について：年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。

◎予算額は、科目間の流用後の金額を記載している。

◎\*を付した[]内の数値については、収支計算書には計上されないが、新規科目の計上及び計上科目の変更を反映した場合の年度予算及びそれに対する進捗率を示している。

(単位：百万円)

科 目	平成26年度3Q				平成25年度3Q	決算対前年度差異			予算との比較	平成25年度同期実績との比較
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)			
2. 事業活動支出										
① 事業費支出										
新車購入時預託関連費支出	692	854	81%	64%	694	△ 2	100%	○ 新車購入時預託台数が予算想定を上回ったため、新車購入時預託関連費支出は想定進捗率を上回った。	○ 新車購入時預託台数は減少したものの、消費税率引き上げに伴い委託手数料支出が増加したため、平成25年度同期実績となった。	
引取時預託関連費支出	35	61	58%	76%	48	△ 13	73%	○ 定常支出項目については、引取時預託台数が予算想定を下回ったため、想定進捗率を下回った。また、非常支出項目である東日本大震災による番号不明被災自動車処理費用については、預託台数実績が81台と予算想定台数500台を下回ったため、想定進捗率を下回った。 <引取時預託関連費支出の内訳>	○ 定常支出項目については引取時預託台数が減少したため、平成25年度同期実績を下回った。また、非常支出項目である東日本大震災による番号不明被災自動車処理費用についても、預託台数実績が減少(950台→81台)したため、平成25年度同期実績を下回った。 <引取時預託関連費支出の内訳>	
輸出取戻し事業費支出	379	402	94%	74%	338	41	112%	○ 輸出返還台数が予算想定を上回ったため、輸出取戻し事業費支出は想定進捗率を上回った。	○ 輸出返還台数が増加したため、平成25年度同期実績を上回った。	
システム関連費支出	386	596	65%	66%	456	△ 69	85%	○ 概ね予算想定通りであった。	○ 平成25年度はデータセンター移行に伴う支出が発生したが、本年度は同支出の発生がなく、平成25年度同期実績を下回った。 <システム関連費支出の内訳>	
サポート業務運営委託費支出	367	544	68%	71%	607	△ 240	60%	○ データセンター運営費支出は、概ね予算想定通りであった。また、コンタクトセンター運営費支出は、コンタクトセンターの問合せ及び並行輸入車等のリサイクル料金設定対応の件数が予算想定を下回ったため、想定進捗率を下回った。 <サポート業務運営委託費支出の内訳>	○ データセンター運営費支出は、平成25年度はデータセンター移行に伴う支出が発生したが、本年度は同支出の発生がなく、平成25年度同期実績を下回った。また、コンタクトセンター運営費支出は、コンタクトセンターの問合せ及び並行輸入車等のリサイクル料金設定対応の件数が平成25年度同期実績を下回ったため、平成25年度同期実績を下回った。 <サポート業務運営委託費支出の内訳>	
理解普及活動費支出	10	32	32%	26%	9	1	117%	○ 自動車教習所での活動に係る支出等が増加したため、想定進捗率を上回った。 <理解普及活動費支出の内訳>	○ 自動車教習所での活動に係る支出等が増加したため、平成25年度同期実績を上回った。 <理解普及活動費支出の内訳>	
資金運用管理費支出	2	3	75%	75%	2	0	103%			
その他の事業費支出	208	284	73%	78%	221	△ 13	94%	○ 主として、要員の減少及び時間外勤務の削減等により想定進捗率を下回った。	○ 主として、平成25年度に退職者が発生したことにより、平成25年度同期実績を下回った。	
事業費支出計	2,080	2,775	75%	68%	2,375	△ 295	88%			

◎金額の表示について：百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値と一致しない。金額がないものは「-」、金額はあるが単位未満のものは「0」で表示している。なお、金額がマイナスの場合は「△」で表示している。

◎想定進捗率について：年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。

◎予算額は、科目間の流用後の金額を記載している。

◎\*を付した[]内の数値については、収支計算書には計上されないが、新規科目の計上及び計上科目の変更を反映した場合の年度予算及びそれに対する進捗率を示している。

(単位：百万円)

科 目	平成26年度3Q				平成25年度3Q	決算対前年度差異			予算との比較	平成25年度同期実績との比較
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率 (a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)			
② 管理費支出									○ 管理費支出の中科目間において、消耗品費支出から、保険料支出に18千円を流用した。 なお、流用については、当財団会計規程において、代表理事の承認を得て科目区分の大科目中の中科目間において流用することができるとしていることから、本規定に基づき予算の流用を行った。  ○ 管理費支出計は社内インフラの老朽化・代替に係る費用の低減等により、想定進捗率を下回った。	
消耗品費支出	1	2	49%	85%	3	△ 2	33%			
保険料支出	0	0	99%	100%	0	0	111%			
管理費支出計	92	145	64%	74%	84	8	110%			
事業活動支出計	2,172	2,919	74%	69%	2,459	△ 287	88%			
事業活動収支差額	265	215	-	-	295	△ 31	-			
II 投資活動収支の部									○ 特定資産運用収入を本財団「特定費用準備資金等取扱規程」に基づき積み立てた額である。(「特定資産運用収入」参照) なお、本年度の計画に基づく積立は、第4四半期に実施する予定である。	
1. 投資活動収入										
投資活動収入計	-	-	-	-	3	△ 3	-			
2. 投資活動支出										
① 特定資産取得支出										
退職給付引当資産取得支出	5	7	70%	75%	6	△ 1	81%			
情報システム刷新準備資金積立支出	1	400	0%	0%	-	1	-			
特定資産取得支出計	6	407	1%	1%	6	△ 0	95%			
投資活動支出計	6	407	1%	1%	7	△ 1	92%			
投資活動収支差額	△ 6	△ 407	-	-	△ 3	△ 3	-			
III 財務活動収支の部									○ 当期収支差額は新車預託台数及び輸出返還台数の増加等により259百万円となった。	○ 当期収支差額は預託台数の減少及び輸出取戻し手数料の料金改定(値下げ)等により平成25年度同期実績を下回った。
1. 財務活動収入										
財務活動収入計	-	-	-	-	-	-	-			
2. 財務活動支出										
財務活動支出計	-	-	-	-	1	△ 1	-			
財務活動収支差額	-	-	-	-	△ 1	1	-			
IV 予備費支出										
当期収支差額	259	△ 282	-	-	292	△ 33	-			
前期繰越収支差額	3,931	3,956	-	-	4,473	△ 542	-			
次期繰越収支差額	4,190	3,673	-	-	4,765	△ 575	-			